

オリコンサルグローバルが施工監理担当

マニラ首都圏地下鉄のCP104工区が起工

オリエンタルコンサルタンツグローバルが施工監理を担当するフィリピン・マニラ首都圏地下鉄の「CP104工区」の起工式が3日、現地で行われた。式典では、施工区間のOrtigas駅～Shaw駅のVR（仮想現実）デモンストラーションを実施した。

式典に出席したパウティスタ運輸大臣（左）と米澤社長（報道発表資料から）



の米澤栄二社長らが出席した。

マニラ首都圏地下鉄のプロジェクトは、日本政府の政府開発援助（ODA）資金と無償資金協力で実施する。延長34キロで2027年の開業を予定している。今回起工したCP104工区は、マニラ首都圏中心部パシグ市のオルティガス地区に位置し、地下鉄路線の中でも重要性や開発効果が高いと期待されている区間。BIMを活用して作成したVRデータは、鉄道路

線沿線住民のプロジェクト理解向上と鉄道運営・維持管理分野での活用を予定している。